



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 旭コンクリート工業株式会社

コード番号 5268 URL <http://www.asahi-concrete.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浦上勝治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 松原 哲

TEL 03-3542-1201

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,583	13.2	△82	—	△70	—	△98	—
24年3月期第1四半期	2,282	△6.7	△62	—	△48	—	△59	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	△7.52	—
24年3月期第1四半期	△4.52	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	12,648	—	7,282	—	—	57.6
24年3月期	13,353	—	7,504	—	—	56.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,282百万円 24年3月期 7,504百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	—	—	7.50	7.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	5,065	0.7	5	—	△10	—	△25	—	△1.90
通期	12,000	1.8	120	—	130	251.4	100	669.2	7.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	13,233,000 株	24年3月期	13,233,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	85,098 株	24年3月期	85,098 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	13,147,902 株	24年3月期1Q	13,147,991 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景とした、持ち直しの動きは見られましたが、欧州の金融不安に加え、円高の長期化等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の関連するコンクリート製品業界におきましては、震災復興需要が徐々に顕在化してきたものの、本格化には至らず、公共事業予算の縮減等も継続されており、加えて第1四半期累計期間は期間的要因である不需要期にあたり、依然として厳しい業況となりました。

このような状況の中で当社は、中期経営3カ年計画Challenge「New Rebirth」の最終年を迎え、目標達成に向け、主力製品でありますボックスカルバートの施工性経済性を追求した耐震性接着継手工法「TB（タッチボンド）工法」や、環境を重視した施工方法であります「ECO-C・L（エコ・クリーンリフト）工法」の積極的な普及・拡販を軸に販売力強化に努めてまいりました。当第1四半期累計期間の売上高は25億8千3百万円となり、前年同四半期に比べ13.2%の増収となりました。

損益面におきましては、「無駄取り運動」等により製造原価管理と販売費及び一般管理費節減、さらに販売価格の改善に取り組みましたが、効果が現れず、営業損失は8千2百万円（前年同四半期は6千2百万円の損失）、経常損失は7千万円（前年同四半期は4千8百万円の損失）となりました。税金費用等を2千7百万円計上し、四半期純損失は9千8百万円（前年同四半期は5千9百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### （コンクリート関連事業）

コンクリート関連事業は、公共事業の縮小は続いておりますが、受注高は27億5千7百万円、売上高は25億7千万円（前年同四半期は22億6千9百万円）の増収となりましたが、前事業年度の受注残の売価安が響き、更に販売価格の低下等により、営業損失は8千万円（前年同四半期は5千8百万円）となりました。

① セメント二次製品部門は、受注高は9億7百万円、売上高は7億9千2百万円（前年同四半期は7億4千9百万円）となりました。

② 工事部門は、受注高が6千6百万円、売上高は7千万円（前年同四半期は7千4百万円）となりました。

③ その他部門は、工事事業用資材及びコンクリート製品に装着する資材等で、受注高は17億8千3百万円、売上高は17億7百万円（前年同四半期は14億4千4百万円）となりました。

#### （不動産事業）

不動産事業は当社が保有するマンション等の賃貸収入で、売上高は1千2百万円（前年同四半期は1千3百万円）営業利益は6百万円（前年同四半期は6百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は126億4千8百万円（前事業年度末に比べ7億4百万円減少）となりました。流動資産は前事業年度末に比べ6億6千7百万円減少し、89億9千万円となり、固定資産は3千7百万円減少して36億5千8百万円になりました。流動資産の主な減少は、受取手形及び売掛金の減少7億9千2百万円となっております。

当第1四半期会計期間末における負債は53億6千6百万円（前事業年度末比べ4億8千2百万円減少）

となりました。流動負債は前事業年度末に比べ4億5千5百万円減少し、49億6千9百万円となり、固定負債は前事業年度末に比べ2千7百万円減少し、3億9千7百万円となりました。流動負債の主な減少は支払手形及び買掛金の減少5億2千6百万円であります。

当第1四半期会計期間末における純資産は72億8千2百万円(前事業年度末に比べ2億2千2百万円減少)となりました。主な減少は四半期純損失9千8百万円及び配当金の支払9千8百万円による利益剰余金の減少1億9千7百万円となっております。その結果、自己資本比率は57.6%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月18日の決算短信で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,070,554	3,123,705
受取手形及び売掛金	5,194,885	4,402,706
製品	1,155,177	1,175,227
原材料及び貯蔵品	102,992	129,210
その他	143,823	167,443
貸倒引当金	△8,925	△7,555
流動資産合計	9,658,508	8,990,738
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	247,328	243,877
機械及び装置(純額)	148,288	156,212
土地	1,720,310	1,720,310
その他(純額)	364,444	362,857
有形固定資産合計	2,480,372	2,483,257
無形固定資産	73,258	73,820
投資その他の資産		
投資有価証券	930,601	892,339
その他	221,689	219,452
貸倒引当金	△10,832	△10,815
投資その他の資産合計	1,141,459	1,100,977
固定資産合計	3,695,090	3,658,055
資産合計	13,353,598	12,648,794
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,979,724	3,453,724
短期借入金	1,200,000	1,300,000
未払法人税等	20,331	3,668
賞与引当金	79,142	33,188
その他	144,969	178,420
流動負債合計	5,424,167	4,969,002
固定負債		
退職給付引当金	81,531	83,184
長期未払金	115,410	104,130
その他	227,934	210,060
固定負債合計	424,876	397,375
負債合計	5,849,044	5,366,377

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,204,900	1,204,900
資本剰余金	819,054	819,054
利益剰余金	5,418,799	5,221,287
自己株式	△44,829	△44,829
株主資本合計	7,397,924	7,200,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	106,629	82,003
評価・換算差額等合計	106,629	82,003
純資産合計	7,504,554	7,282,416
負債純資産合計	13,353,598	12,648,794



(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,282,062	2,583,538
売上原価	2,095,682	2,419,078
売上総利益	186,380	164,459
販売費及び一般管理費	248,682	247,361
営業損失(△)	△62,301	△82,902
営業外収益		
受取利息	2,374	1,286
受取配当金	8,043	14,563
その他	11,319	5,974
営業外収益合計	21,737	21,824
営業外費用		
支払利息	3,598	3,570
その他	4,673	5,648
営業外費用合計	8,272	9,218
経常損失(△)	△48,836	△70,296
特別損失		
固定資産除却損	1,935	1,244
特別損失合計	1,935	1,244
税引前四半期純損失(△)	△50,772	△71,540
法人税、住民税及び事業税	4,416	4,363
法人税等調整額	4,180	22,998
法人税等合計	8,597	27,361
四半期純損失(△)	△59,369	△98,902

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。